

オムニスケルブチャーズ

用3期とびる場所

会場図

伊藤誠

須田悦弘

長谷川さ

舟越桂

戸谷成雄

アトリウム2

金代敏子

西尾康久

棚田康司

アトリウム1

足子室2

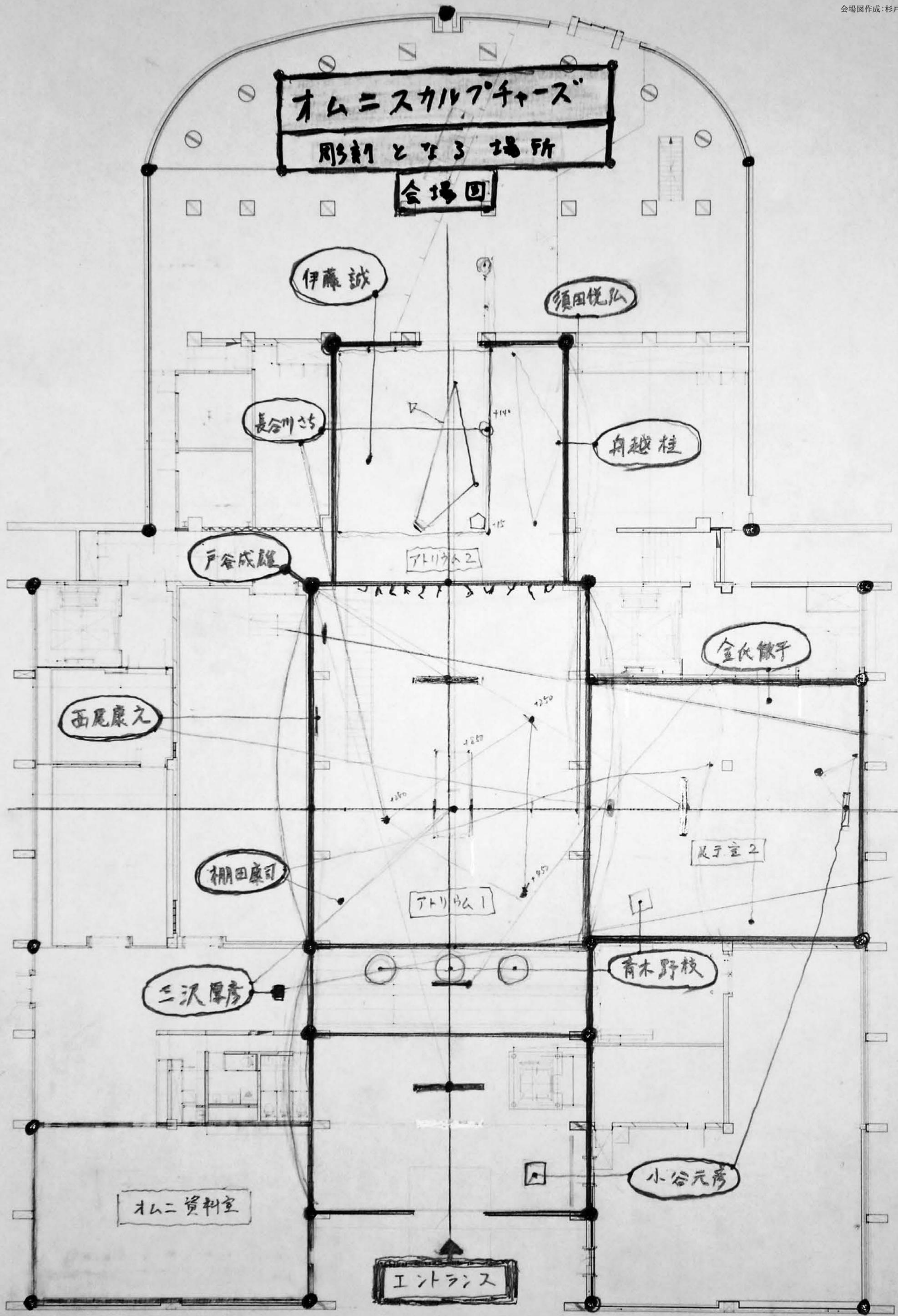
三沢厚彦

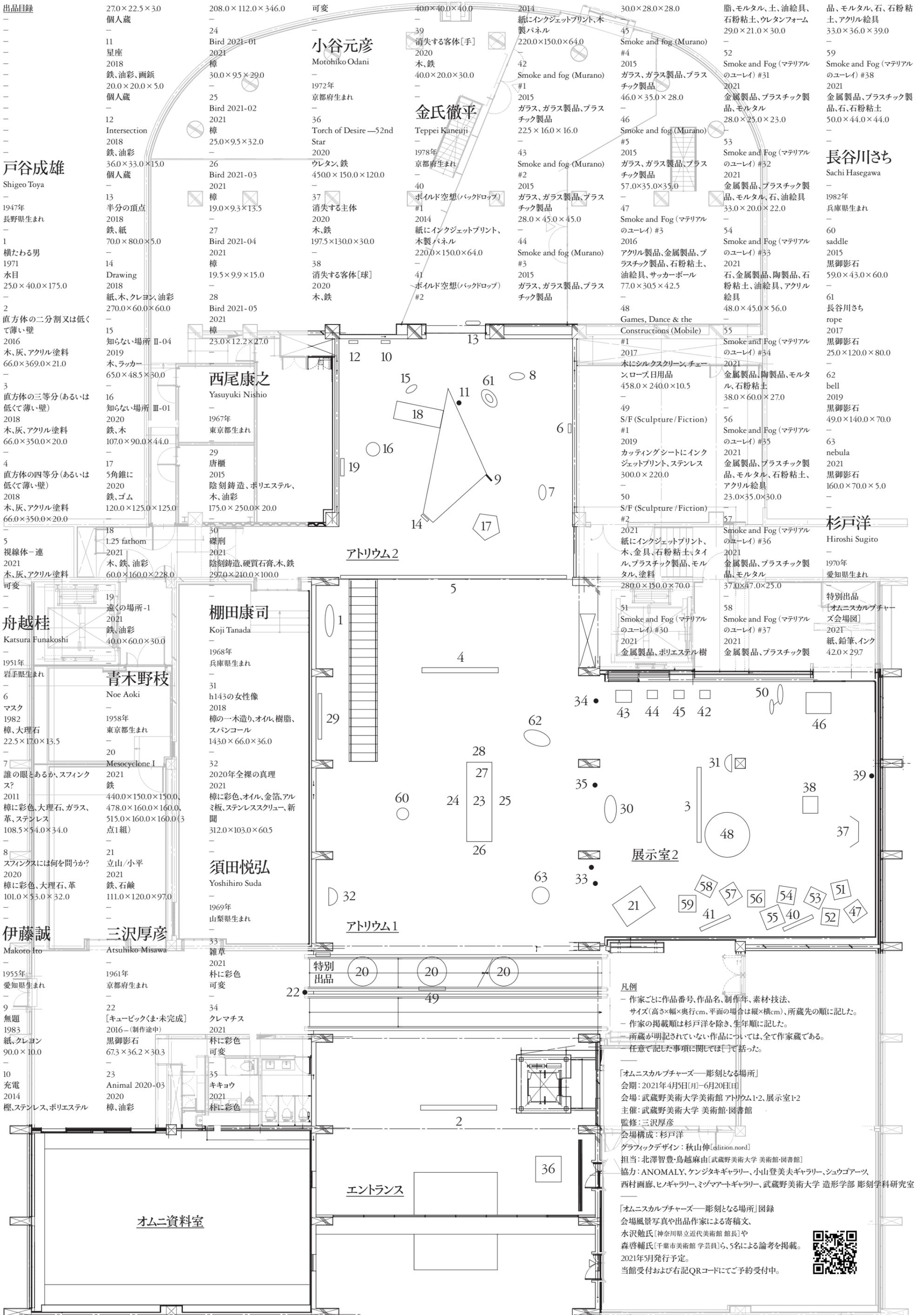
青木野枝

オムニ資料室

小谷元彦

エントランス





出品目録

270.0×22.5×30.0
個人蔵

11
星座
2018
鉄、油彩、画鋸
20.0×20.0×5.0
個人蔵

12
Intersection
2018
鉄、油彩
36.0×33.0×15.0
個人蔵

13
半分の頂点
2018
鉄、紙
70.0×80.0×5.0

14
Drawing
2018
紙、木、クレヨン、油彩
270.0×60.0×60.0

15
知らない場所 II-04
2019
木、ラッカー
65.0×48.5×30.0

16
知らない場所 III-01
2020
鉄、木
107.0×90.0×44.0

17
17角錐に
2020
鉄、ゴム
120.0×125.0×125.0

18
1.25 fathom
2021
木、鉄、油彩
60.0×160.0×228.0

19
遠くのところ-1
2021
鉄、油彩
40.0×60.0×30.0

20
Mesocyclone I
2021
樟に彩色、大理石、ガラス、革、ステンレス
108.5×54.0×34.0

21
立山/小平
2021
鉄、石鹼
111.0×120.0×97.0

22
[キュービックくま-未完成]
2016- (制作途中)
黒御影石
67.3×36.2×30.3

23
Animal 2020-03
2020
樟、油彩

208.0×112.0×346.0

24
Bird 2021-01
2021
樟
30.0×9.5×29.0

25
Bird 2021-02
2021
樟
25.0×9.5×32.0

26
Bird 2021-03
2021
樟
19.0×9.3×13.5

27
Bird 2021-04
2021
樟
19.5×9.9×15.0

28
Bird 2021-05
2021
樟
23.0×12.2×27.0

29
h143の女性像
2018
樟の一木造り、オイル、樹脂、スパンコール
143.0×66.0×36.0

30
磔刑
2021
陰刻鋳造、硬質石膏、木、鉄
297.0×210.0×100.0

31
2020年全裸の真理
2021
樟に彩色、オイル、金箔、アルミ板、ステンレススクリュー、新聞
312.0×103.0×60.5

32
クレマチス
2021
樟に彩色
可変

33
雑草
2021
朴に彩色
可変

34
クレマチス
2021
樟に彩色
可変

35
キキョウ
2021
樟に彩色
可変

戸谷成雄
Shigeo Toya

1947年
長野県生まれ

1
横たわる男
1971
水目
25.0×40.0×175.0

2
直方体の二分割又は低くて薄い壁
2016
木、灰、アクリル塗料
66.0×369.0×21.0

3
直方体の三等分(あるいは低くて薄い壁)
2018
木、灰、アクリル塗料
66.0×350.0×20.0

4
直方体の四等分(あるいは低くて薄い壁)
2018
木、灰、アクリル塗料
66.0×350.0×20.0

5
視線体-連
2021
木、灰、アクリル塗料
可変

小谷元彦
Motohiko Odani

1972年
京都府生まれ

36
Torch of Desire—52nd Star
2020
ウレタン、鉄
450.0×150.0×120.0

37
消失する主体
2020
木、鉄
197.5×130.0×30.0

38
消失する客體[球]
2020
木、鉄

金氏徹平
Tepei Kaneuji

1978年
京都府生まれ

40
ポイルド空想(バックドロップ) #1
2014
紙にインクジェットプリント、木製パネル
220.0×150.0×64.0

41
ポイルド空想(バックドロップ) #2

西尾康之
Yasuyuki Nishio

1967年
東京都生まれ

29
唐櫃
2015
陰刻鋳造、ポリエステル、木、油彩
175.0×250.0×20.0

棚田康司
Koji Tanada

1968年
兵庫県生まれ

31
h143の女性像
2018
樟の一木造り、オイル、樹脂、スパンコール
143.0×66.0×36.0

須田悦弘
Yoshihiro Suda

1969年
山梨県生まれ

舟越桂
Katsura Funakoshi

1951年
岩手県生まれ

6
マスク
1982
樟、大理石
22.5×17.0×13.5

7
誰の眼とあるか、スフィンクス?
2011
樟に彩色、大理石、ガラス、革、ステンレス
108.5×54.0×34.0

8
スフィンクスには何を問うか?
2020
樟に彩色、大理石、革
101.0×53.0×32.0

伊藤誠
Makoto Ito

1955年
愛知県生まれ

9
無題
1983
紙、クレヨン
90.0×10.0

10
充電
2014
樫、ステンレス、ポリエステル

青木野枝
Noe Aoki

1958年
東京都生まれ

20
Mesocyclone I
2021
樟に彩色、大理石、ガラス、革、ステンレス
108.5×54.0×34.0

21
立山/小平
2021
鉄、石鹼
111.0×120.0×97.0

22
[キュービックくま-未完成]
2016- (制作途中)
黒御影石
67.3×36.2×30.3

23
Animal 2020-03
2020
樟、油彩

三沢厚彦
Atsuhiko Misawa

1961年
京都府生まれ

22
[キュービックくま-未完成]
2016- (制作途中)
黒御影石
67.3×36.2×30.3

23
Animal 2020-03
2020
樟、油彩

35
キキョウ
2021
樟に彩色
可変

杉戸洋
Hiroshi Sugito

1970年
愛知県生まれ

特別出品
[オムニスカルプチャーズ会場]
2021
紙、鉛筆、インク
42.0×29.7

長谷川さち
Sachi Hasegawa

1982年
兵庫県生まれ

60
saddle
2015
黒御影石
59.0×43.0×60.0

61
長谷川さち
rope
2017
黒御影石
25.0×120.0×80.0

62
bell
2019
黒御影石
49.0×140.0×70.0

63
nebula
2021
黒御影石
160.0×70.0×5.0

凡例

- 作家ごとに作品番号、作品名、制作年、素材技法、サイズ(高さ×幅×奥行cm、平面の場合は縦×横cm)、所蔵先の順に記した。
- 作家の掲載順は杉戸洋を除き、生年順に記した。
- 所蔵が明記されていない作品については、全て作家蔵である。
- 任意で記した事項に関しては「」で括った。

「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」
会期: 2021年4月5日[月]—6月20日[日]
会場: 武蔵野美術大学美術館 アトリウム1・2、展示室1・2
主催: 武蔵野美術大学 美術館・図書館
監修: 三沢厚彦
会場構成: 杉戸洋
グラフィックデザイン: 秋山伸[edition.nord]
担当: 北澤智豊・舟越麻由[武蔵野美術大学 美術館・図書館]
協力: ANOMALY、ケンジタキヤラー、小山登美夫ギャラリー、シュウゴアーツ、西村画廊、ヒノギャラリー、ミヅアートギャラリー、武蔵野美術大学 造形学部 彫刻学研究室

「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」図録
会場風景写真や出品作家による寄稿文、水沢勉氏[神奈川県立近代美術館 館長]や森啓輔氏[千葉市美術館 学芸員]ら、5名による論考を掲載。2021年5月発行予定。
当館受付および右記QRコードにてご予約受付中。